

玉垂



春の彩り（平成19年2月22日）

<http://www.okunijinja.jp/>

御挨拶

小國神社 宮司 打田 文博

正月以来の暖冬のせいか、境内の梅も満開を過ぎ早咲きの桜が開花し、山笑う季節となりました。氏子崇敬者の皆様には、ご平安な日々をお過ごしのことと拝察申し上げます。

お蔭様で、進めております御鎮座一四五〇年記念事業も第一期の「舞殿御屋根替え」も終わり、現在は第二期の「社務所の増築」工事が順調に進行し、本年九月末には竣工の運びとなります。現在は最終事業である「斎館及び休憩所」の建設に向け準備と募財活動を継続致しております。何卒、ご理解、ご協力の程あらためましてお願い申し上げます。

さて神社の近況ですが去る一月十九日に鎌倉時代から当社に伝わる「田遊び」が、国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」（国選択）に選ばれました。正月早々誠に名誉なことと関係者と共に喜んでおります。

この田遊びは、昭和三十五年に県の指定文化財となりましたが、今日までの間奉仕者の減少などさまざまな問題を克服し現在に至っており、先人のご努力にあらためて敬意を表し感謝申し上げます。この上は、調査研究を進め、記録作成の責任を果たしてまいりたいと存じております。又同時に、無形の民俗文化財は、人から人への伝承であり、後継者を含め多くの国民に、伝統文化に対する理解がなければ後世に伝えていくことは困難です。小國神社の「田遊び」「十二段舞楽」は、国民皆の財産として育んで頂きたいと念じております。

ところで、伝統文化と言えば昨年十二月、制定いらい約六十年ぶりに改正されました「教育基本法」が頭に浮かびます。改正点を見ますと、「公共の精神の尊重」や「伝統の継承」の理念が前文に新たに盛り込まれたほか、「伝統と文化の尊重」や「国と郷土を愛する態度を養う」「豊かな情操と道徳心を培う」ことが教育の目標として明記されました。

昨今の非人道的な事件の多発を見ます時、我国の伝統や文化、そしてその周辺の精神文化から学ぶべきものは多く、今回の改正は時を得た画期的なことだと思います。

一日も早い実行に期待したいものです。

平成19年 正月の社頭状況



正月の参拝風景（1月3日）



雪の御本殿（1月7日）



手鉾始祭（1月11日）



御弓始祭（1月17日）



どんど焼き（1月21日）



全員の奉仕者による「歌おろし」



田遊び神事-種蒔き-（1月3日）

「田遊び神事」
国が記録作成すべき無形文化財に指定

節分祭の齋行



女子レスリング日本代表・浜口京子さん

晴天に恵まれた二月三日(土)の午後二時より節分祭を齋行いたしました。本年は女子レスリングでご活躍中の浜口京子さんをお招きいたしました。一女役としてご奉仕いただきました。一・二名の年男役・年女役の方々と共に大紋を身にまとい、拜殿内の外はめを柳と梅の枝で作った笹でたく追儺神事や豆撒き神事に続き、年男役・年女役の弥栄を祈願する宝槌打振神事、大声で笑い厄災を祓う福笑い神事をご奉仕されました。祭典終了後に舞殿及び特設舞台にて行いました豆撒き式では、今を時めく浜口さんの姿を一目見ようと集まった大勢の参拝者の歓声や声援に笑顔で手を振ってお応えになっておられました。

豆撒き式終了後も参拝者との記念撮影や握手に気軽に応じられるなどそのお人柄が感じられ、また子供が大好きだという浜口さんは、声援を送るお子さん達との触れ合いを心から楽しんでおられました。今年の世界大会そして来年の北京オリンピックでのご活躍をお祈りいたします。



豆撒き式



節分祭奉仕者

紀元祭の齋行



建国記念の日・奉祝式典の開催

二月十一日(日)の建国記念の日には、毎年全国の神社・各地で奉祝式典や記念行事が行われます。小國神社では、氏子内の三地区より出発し建国をお祝いする奉祝パレードを実施いたしました。

当日は晴天に恵まれましたが、時折冷たい風が吹き抜ける中、子供会を中心に参加者約三百名が国旗や手旗を振りながら元氣よく神社に向かって行進しました。

神社では、紀元祭が齋行され森町助役佐藤賢一様を始め、森町議会議長中尾和男様・静岡県議会議員岩瀬護様・奥山隆様のご参列を戴き、祭典後拜殿前の奉祝式典にてご祝辞を賜りました。

境内では氏子青年会の主催による餅つきやビンゴゲームが催されるなどして賑わい、楽しいひとときを過ごして建国の日をお祝いいたしました。

祈年祭の齋行



祈年祭の参進

二月十七日(土)午前十時、祈年祭が齋行されました。

祈年祭とは、「トシゴイノマツリ」とも云われ、穀物の稔りを指す「トシ」の豊穣を大神様に祈るもので、一年の収穫を感謝申し上げる十一月の新嘗祭と対になるお祭りです。このお祭りでは、穀物の豊穣を祈るのほもとより、国家の安泰、産業の発展もお願い申し上げます。

当日は、生憎の天候ではありましたが、崇敬奉賛会会長鈴木覚様を始め、崇敬奉賛会理事小栗啓様・静岡県議会議員奥之山隆様のご参列を賜り無事滞りなく齋行いたしました。

師走の大祓式齋行

十二月三十一日(日)の大晦日、午後三時より師走(年越)の大祓式を齋行いたしました。当日は天候にも恵まれ、氏子内外より参列された約二五〇名の方々も神職とともにお祓いを受け、身も心も清められ清々しく新たな気持ちに立ち返りました。その後、拝殿にて除夜祭に参列され、本年一年間無事に過ごせた事への感謝と新年が輝かしい年でありましたよう、大神様をお願いを申し上げました。この大祓式は年二回行われており、来る六月三十日(土)には夏越の大祓式(茅輪神事)が齋行されます。当日ご参列いただければ皆様と一緒にお祓いをお受けいただけますので、是非ともご家族お揃いでお申し込みの上、ご参列いただきますようご案内申し上げます。

尚、大祓の人形は一ヶ月前より、ご祈祷をお受けいただきました方、前回お申し込みのありました方にご案内いたしますとともに、社頭にてお頒けいたしております。ご希望の方は、当社までお問い合わせ下さい。

小國神社社務所 大祓係
TEL 〇五三八一八八九七三〇二
FAX 〇五三八一八八九七三六七



師走の大祓式 (12月31日)

例祭「神楽舞」の衣装等の整備

四月の例祭で少女四名により奉奏されます神楽舞(森町指定無形民俗文化財)が、平成十八年度静岡県ふるさと文化再興事業地域伝統文化伝承事業に認定されました。これをうけまして、神楽舞伝承会では、長年の使用により損傷の激しい衣装と独自に保有するための楽太鼓を新調いたしました。

本年の神楽舞奉奏は、四月十五日(日)午後二時より齋行の神幸祭においてご覧いただけます。まばゆい純白の千早に緋袴と澄んだ音色は、古代の森に映え、響き渡ることでしょう。



神楽舞衣装 (4組)



楽太鼓

社務所増改築工事の現況



社務所増改築工事の上棟 (3月2日)



上棟の現況 (北側)

古代の森シリーズ 19

「古式神酒(どぶろく)」

古式神酒は、神様にお供えする御神酒として、御本殿近くの神饌殿で決められた位置にて、当社伝統の製法で醸造されます。毎年、十月・十二月・三月の年三回に造りますが、元仕込み・添仕込みにより酸味と甘味のある古式神酒が完成します。夏の暑い時期以外は、全ての祭典にお供えされます。

また、大祭・中祭などには、直会の席に撤下神酒としてだされ、ご参列の皆様にお楽しみいただいております。

明治十三年(一八八〇)の酒造税法の制定時においても許可を得て、今日まで絶やすことなくお供えています。



古式神酒 (どぶろく)



第五回「秋の写真コンテスト」のご報告



当社の紅葉は「遠州の名所」として平日・休日を問わず多くの参拝者が訪れます。特に昨年は、全国的にテレビ放送もされ、県外からの団体旅行者が多く見受けられました。

今回の写真コンテストには一・二名の皆様から四〇〇枚にもおよびご応募があり、去る二月十五日(木)に実行委員会による最終審査会が開催され、満場一致で以下の通り各賞が決定されました。尚、審査発表は各受賞者への直接通知と県写真材料商組合中遠支部加盟店・新聞記事で公表いたしました。

入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	特別賞	優秀賞	優秀賞	最優秀賞
入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入
選	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選	選
富士本 晃	鈴木ミツヒロ	中村 元則	山下 憲造	小林 勤	光飛田悦子	寺田ちゑ子	小山 勝二	石川 勝男	藤田 正男	金子 育史	横尾 光男	相沢 清	鶴飼 康裕
(札幌市)	(磐田市)	(袋井市)	(島田市)	(浜松市)	(島田市)	(森 町)	(浜松市)	(袋井市)	(浜松市)	(浜松市)	(袋井市)	(島田市)	(浜松市)

(敬称略)

表彰式は三月四日(日)に小國神社拜殿において正式参拝後、開催されました。作品展は三月二日(金)から三月十五日(木)までの期間、森町文化会館一階の壁画前にて入賞作品を含めた五十枚の作品を展示いたします。なお、開催にあたりご協力くださいました各後援・協賛者の皆様方に改めて厚く御礼申し上げます。



横尾 光男 「宮川秋彩」



相沢 清 「紅葉の小径」



金子 育史 「紅葉を求めて」



鶴飼 康裕 「秋彩の流れ」

まつり歳時記

三月〜六月

三月

弥生

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 十八日 真田城趾慰霊祭 (午前十時半)
- 十八日 鉦執社例祭 (午後一時半)
- 二十一日 春季皇霊祭遙拝式 (午前九時)
- 三十一日 初甲子祭 (午前九時)

四月

卯月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 一日 一宮さくら祭 (午前十時半)
- 三日 神武天皇祭遙拝式 (午前九時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 七日 勸学祭 (午前十一時)
- 八日 杉 祭 (午前九時)
- 八日 全国一宮等合殿社例祭 (午前九時半)
- 十二日 垢離祭 (午前十一時)
- 十二日 舞 揃 (午後二時)
- 十四日 献詠祭 (午前九時)
- 十四日 氏子入り奉告祭 (午後二時)
- 十四日 十二段舞楽奉奏 (午後二時)
- 十五日 十二段舞楽奉奏 (午前十一時)
- 十五日 神幸祭 (午後二時)
- 十七日 前日祭 (午前十時)
- 十八日 例 祭 (午前十時)

五月

皐月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 五日 こども祭 (午前十時)
- 六日 本宮山青葉祭 (午前十一時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 三十日 甲子祭 (午前九時)

六月

水無月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 一日 花菖蒲園開園奉告祭 (午前九時)
- 二日 花菖蒲観賞祭 (午前十時半)
- 三日 花しょうぶまつり (午前十時半)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 二十一日 御田植祭 (午前九時)
- 三十日 夏越の大祓式 (午後三時)



シャガ

初甲子祭のご案内

初甲子の日は、当社の御祭神である大己貴命様が国土経営を始められた日といわれ、六十日に一度巡るその御縁日に甲子祭が斎行されます。

甲子が十干十二支の最初の干支であることから、事始め・招福の祈りがこめられており、特に御霊顕あらたかで願い事が叶えられると伝えられております。年一度の御本殿廻りが特別に行われ、商売繁昌・交通安全・家内安全・厄除けのご祈禱をいたします。

皆様お誘い合わせの上、ご参拝下さいますようご案内申し上げます。

- 一、申込期限 三月二十二日(水祝日)
- 一、会 費 一人二、五〇〇円
- 一、祈禱日 (ご祈禱料・食事代含む) 三月三十一日(土曜日)
- 一、祈禱時間 午前九時〜午前十一時頃迄



初甲子祭・御本殿廻り神事

一宮さくら祭の開催

境内のソメイヨシノや河津桜、枝垂れ桜等は総称して「一宮千本桜」と呼ばれ親しまれており、毎年多くの参拝者にお越し戴いております。

四月一日(日)に恒例の「一宮さくら祭」を開催いたします。当日は拝殿前の舞殿にて琴と尺八の奉納演奏、また門前の特設ステージではバンド演奏や手踊等の催し物が行われます。

また、境内では野点や甘酒の接待もお楽しみいただけます。

概ね午後三時二十分頃には餅撒きも実施いたしますので、皆様お誘い合わせのうえ、お出かけ下さい。



平賀ストーンミュージックの演奏

「礼節を知る民族」をめぐって



参議院議員 比例代表(全国区) 選出
神道政治連盟国会議員懇談会副幹事長

ありむら治子

安倍政権が始まって以来、最初の国会運営を乗り切ることができました。平成十八年九月の自民党総裁選において、安倍晋三候補(当時)の推薦人・立候補届出人となり、内閣総理大臣の座を狙う三人の総裁候補による日本の将来像を、直接拝聴できたことは、一期生である私にとって大きな糧となりました。秒刻みで受け続ける重圧の中で、一国のトップリーダーが自らの哲学や経験、知り得ている情報や「第六感」を駆使して意思決定を重ねていく姿を、まざまざと間近で見ることができたからです。

事実上国会最終日となった十二月十五日、私も賛成票を投じた参議院本会議で、防衛庁が防衛省となることが決定し、また念願の教育基本法の改正も相成りました。「戦後体制からの脱却」を目指す安倍政権発足直後に、私自身から感謝申し上げます。今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

わが国は、敗戦で打ちひしがれた焦土から奇跡的な復興を遂げ、世界でトップレベルの経済的繁栄を手にし、今や、どの国よりも長く生き永らえる最長寿命国となりました。「衣食足りて礼節を知る」と諺にあります。今日着る服、今日食べるご飯の心配が要らないほど経済的には豊かになった現在、私たちは本当に「礼節を知った民族」になれたのでしょうか。この六十一年間に果たした経済的發展と同じくらい、心の豊かさをしっかりと発展させてこられたかどうか。

「美しい国創り」を自らの使命とするトップリーダーのもと、今こそ真の心の豊かさ、世界各国からも尊敬される民族としての生き方・価値観を明確にし、実践していこうとする気概を国民国家として打ち立てていかなければならない時だと確信した今国会でもありました。

「神道の精神を国政に、日本の心を政策に」を念頭に、これからはまっすぐ、命の重み・家族の絆・国家の尊厳を守るための議会活動を重ねるべく、神政連に推薦を頂いた唯一の者として、全力を尽くして参ります。日頃から全国各地で賜っております厚誼に心から感謝申し上げます。今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

命 名

平成十八年十二月一日
平成十九年一月三十一日

- | | | | | | |
|-------|-----|-------|-----|-------|-----|
| 西尾 優我 | 掛川市 | 鈴木 久温 | 袋井市 | 高橋 亮太 | 袋井市 |
| 加藤 理央 | 袋井市 | 鳥居 杏珠 | 袋井市 | 松下莉衣奈 | 磐田市 |
| 山崎 優優 | 掛川市 | 渡邊 正清 | 袋井市 | 細田 菜摘 | 袋井市 |
| 青木 稜真 | 浜松市 | 河合 希実 | 磐田市 | 小嶋 輝 | 浜松市 |
| 渡辺 萌衣 | 菊川市 | 藤井美凜 | 袋井市 | 高曽根 健 | 袋井市 |
| 渡辺 歩夢 | 袋井市 | 村松 和愛 | カナダ | 鈴木崇士朗 | 掛川市 |
| 南澤幸太郎 | 袋井市 | 池谷 史胡 | カナダ | 前田奈々瀬 | 袋井市 |
| 花嶋 元良 | 森町 | 佐直 彩花 | 掛川市 | 藤井 優宗 | 袋井市 |
| 鈴木ひより | 森町 | 祐奈 | 掛川市 | 三浦 菜桜 | 森町 |
| | | | | 片桐有優奈 | 磐田市 |
| | | | | 竹内 帆香 | 掛川市 |
| | | | | 足立 英加 | 浜松市 |

稚児行列奉仕者の募集

四月十五日(日)午後二時より神幸祭(おわたり)を斎行し、稚児行列を執り行います。つきましては、本年も行列に参加される稚児を募集しておりますので、ご希望の方は当社までご連絡ください。

電話 〇五三八一八九一七三〇二
振興会 稚児行列係

募集要項

- 一、対象者 小学校三年生位までの男女
- 一、参加費 五、〇〇〇円
- 一、募集人員 先着二十名
- 一、申込締切 四月六日(金)



稚児奉仕者

献詠祭の和歌募集

当社では、献詠祭で神前に奉納する和歌を募集しています。左記の要項にて多数ご応募くださいますようお願い申し上げます。

- ◇兼題 「木漏日」・「杉」
- ◇用紙 短冊
- ◇歌は楷書にてお書き下さい。
- ◇裏面に住所・氏名を明記下さい。

◇献詠費 無料

◇締切 四月十二日(木)

- ◇宛先 千四三七一〇三六 静岡県周智郡森町一宮 三九五六一 小國神社社務所 祭儀課献詠係



神幸祭の神楽舞



平成18年12月17日(日)に岐阜市で開催されました「第26回全日本実業団対抗女子駅伝」にて優勝しました「資生堂」チームにおいて、第2区を任された「平田裕美」選手(米倉地区出身・日体大卒)が、お父様とともに御礼のお参りに来られました。



一の鳥居付近の染井吉野

「小國の杜・点描」



参道脇の石楠花



神饌田御田植祭の奉仕

敬神婦人会の活動



例祭雪洞の宛名書き奉仕

振興会の活動

平成十九年三月七日
「玉垂」(たまだれ) 第十九号
題字揮毫 神社本廳前総長 工藤 伊豆
発行 小國神社社務所
郵便番号 四三七一〇二二六
住所 静岡県周智郡森町一宮三九五六一
電話番号 〇五三八(八九) 七三二〇二
FAX 〇五三八(八九) 七三二六七
印刷 (株)デザインオフィス エム・エス・シー

平成十九年二月二十二日(木)午後三時に河津桜と紅梅を撮影いたしました。境内には奉納戴いた河津桜が二十本程度点在しています。また、紅梅・白梅の観賞に訪れる方が、本年は早い時期より多く見受けられました。

表紙写真について

○「玉垂」十九号をお届けいたします。年末から祈年祭迄の祭事行事をご報告させて頂きました。節分祭にご奉仕戴きました「浜口京子」さんは、さすがに著名な方で、参拝者の皆様がデジタルカメラや携帯電話等で絶え間なく撮影されておりました。今後のご活躍が期待されます。○境内は春本番と言ってもいいのでしょうか。様々な花が咲いています。暖冬の影響で二週間程、開花が早いように思われます。染井吉野の開花が今から楽しみです。紅葉の新芽の芽吹きも春を感じて良いものです。

編集後記



拝殿前のエビネ